

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人権教育課
 担当名: 企画・支援担当
 内線: 6897

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P37	学校におけるヤングケアラー支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	人権教育推進費	
事業期間	令和3年度～ 令和8年度	根拠法令	埼玉県ケアラー支援条例			針路	02 県民の暮らしの安心確保	SDGsゴール	4
						分野施策	0206 生活の安心支援	SDGsターゲット	4-7
1 事業概要	児童生徒及び教職員に対して、埼玉県ケアラー支援条例の趣旨に沿った理解増進を図るとともに適切な相談支援を受けられる環境を整備する。 ヤングケアラーサポートクラス △852千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ヤングケアラーサポートクラス 4,444千円 → 3,592千円 ア 「ヤングケアラーの専門家」若しくは「元ヤングケアラー」を講師として招聘し、講演会等を実施する。 イ 指導資料等を活用したヤングケアラーに関する授業と学校の実情に応じたヤングケアラー支援策をセットにした県立高校独自のヤングケアラーサポートクラスの実施 (2) 事業計画 ヤングケアラーサポートクラス ア 市町村を対象にした「ヤングケアラーサポートクラス」の実施 16回 イ 県立学校を対象とした「自走式」ヤングケアラーサポートクラスを実施 50校 (3) 事業効果 ヤングケアラーに対する適切な理解を基盤としたヤングケアラーが気軽に相談できる環境の整備が図れる。 【活動指標(アウトプット)】ヤングケアラーサポートクラス実施(16回) 自走式ヤングケアラーサポートクラス実施(県立高校50校) 【成果指標(アウトカム)】児童生徒や学校関係者の理解が深まることで、当事者が友達や学校関係者に相談しやすい態度や雰囲気を醸成する。 ヤングケアラーの支援を行った学校の割合(公立小中高)70% (4) 補正予算の概要 自走式ヤングケアラーサポートクラスの実施校数が予定を下回ったこと等による減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△852							△852	3,592
現計額	4,444							4,444	

事業内訳書

事業名	学校におけるヤングケアラー支援事業		
単位事業名	ヤングケアラーサポートクラス	予算額	△ 852千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△852	—	
合計	△852	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△750	—	実施校数が予定を下回ったことによる減
旅費	△7	—	節減による減
需用費	△95	—	実施校数が予定を下回ったことによる消耗品費の減
合計	△852	—	